

# 委員会 レポート

委員会活動として、  
閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、  
各委員会は第12回定例会において、  
次のとおり報告しました。

## 総務文教常任委員会

委員長 口田那男

### 調査事項 指定管理者制度の取り組みについて

① 町内の取り組み  
指定管理者制度を導入して3年目を迎えているアイスアリーナの総利用人員は5万4137人で前年度より4930人減少している。アイスホッケー協会では、ロビーの一角にトレーニング室を設けるなど利用者の拡大を図る努力が見られた。

② 栗山町の取り組み  
栗山町は、平成17年に条例を制定、平成20年度から公園等2施設、社会教育施設6施設、社会体育施設15施設を公募し、町内民間業者4社を指定管理者としている。また、社会教育施設等の3施設について、非公募施設として、町内の民間業者2社を指定管理者としている。平成20年に定めた指定管理者評価マニュアルでは「施設の設置目的の達成」「利用者サービスの向上」「施設の適正な管理運営」「地域との連携」の4項目について、指定管理者の自己評価、施設担当課の第1次評価、指定管理者評価委員会での第2次評価を行い、結果を公開している。



指定管理者制度の状況説明(栗山町)

③ 千歳市の取り組み  
千歳市では、市民に対して良質なサービスを提供するとともに経費の削減等を図るため、平成17年度に「指定管

## 産業厚生常任委員会

委員長 奥秋康子

### 調査事項 都市公園等の管理について ごみ処理の現状について

① 都市公園等の管理  
都市公園は、本町に街区公園11か所、近隣公園1か所、地区公園1か所、総合公園1か所が設置され、更に都市計画区域外のその他の公園4か所、児童遊園地3か所と合わせて、平成21年4月1日現在で21か所の都市公園等

を管理している。管理作業は臨時職員7名が担当し、トラック2台、乗用式草刈機7台を使用して芝刈り、遊具点検、噴水清掃の作業を年間156日行っており、その他にパークゴルフ場受付監視、ボート乗り場管理等の作業を民間委託している。

② ごみ処理の現状  
今後は、財政状況を考慮し、遊具等の整理や更新を検討、少子高齢化の中、町民全体のものとなるような実態に合った公園づくりを考えていくことが大切である。

平成20年度の資源ごみ売り払い状況では、単価の高騰もあって過去最高の1647万5592円となっているが、資源ごみとして受け入れた総量879・59tのうち、約19%の1677tが資源として処理できず、多様な価値観を持つ住民の合意形成を図るため、資源ごみのリサイクル過程の周知など、環境教育、広報活動を粘り強く進める必要がある。



清掃センターでの現地調査